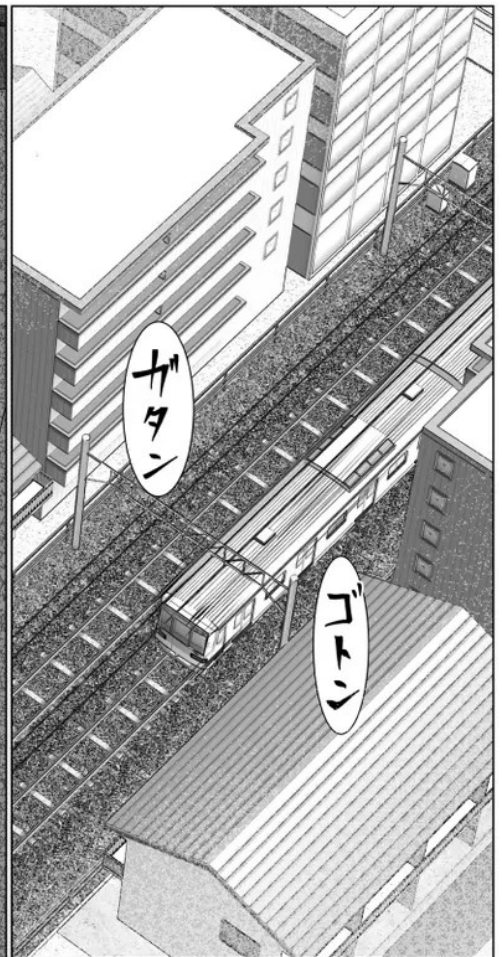
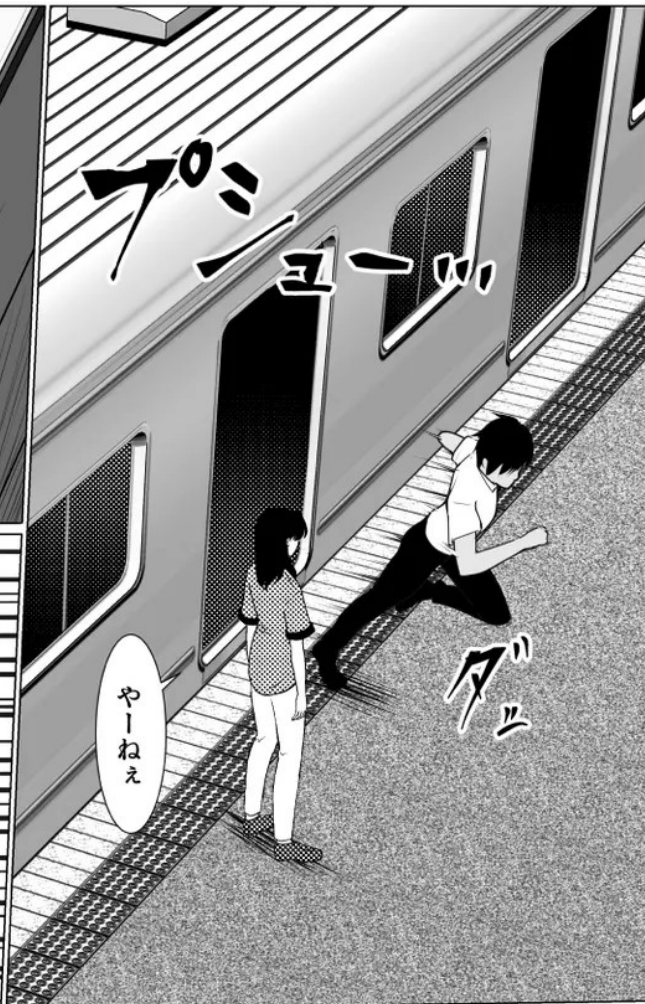




人に見えない妖怪ならナニしても合法!?!9









こ、これが我が闇の力を
目覚めさせる儀式…？

その通り、闇の契約には
『互いの生命力を共有する』必要がある
今はその下準備、鉄鼠ほどの
邪神の使い手なら肉体が
覚醒するのがわかるだろう？（適当）



たしかにこの
感覚は未知の領域！



数分前

私は漆黒に選ばれし伝道の使徒——
この世の理からはじき出された異端者ゆえ、
今は仮初の人の器に身を忍ばせている。
……だが遂にだ、
我が闇の契約に値する魂を見出した。



問おう……おまえは禁忌をも恐れず、
その血肉を代価にしても力を欲するか？

だから我が視えるのだな！
ぜ、是非頼む！



うむ、発熱し共鳴の準備ができた。
ならば次の段階だ。今度は私の闇の核を感じろ



これぞ深淵の象徴——
世界を喰らう闇の奔流を封じた禁忌の柱にして、
触れる者の魂を穢しながら
無限の奈落へと導く黙示録の鍵……
それが、我が肉体に宿りし
漆黒の闇杖（ダークネメシス）だ。

たしかに、それほど大きな棒
その洋袴に隠せるわけもなく、
超常な力以外で顕現させた
としか説明できぬな!!



五感のすべてを以て刻め……
漆黒の咆哮を纏いし《闇杖》の鼓動を。
視覚を焼き、聴覚を震わせ、嗅覚を腐らせ、
触覚を軋ませ、そして味覚すら
闇に墮とす――
さあ、この身を通して虚無の
真理を感じ取るがいい……!!

まあ

まあ

あつ……!! なんと……
熱さと重さと硬さ……!!
これが……闇杖……!!

クン
クン…

変な臭い…

ギン

そしてお前には更なる使命がある。
私の闇杖を口で清めるのだ

ド

ン

く……くち!?

——これぞ禁忌の契約儀式。
闇杖に舌を這わせ、
ふふ……耐えきれぬ者は
ただ塵と散れ。
だが堕ちきることを選ぶなら
闇そのものが
お前を受け入れよう……!!

100%

わ……わかった……!!
それが闇の掟ならば……!!

そう……次は舌や唇全体を使って
知るんだ……

ちゅ
ちゅ

おお、初とは思えぬ素晴らしい
口遣い……さすがだぞ

ぐっ
ぐっ

さあ、口頭儀式はここからが本番だ

カッ

しっ

いいぞ、鉄鼠よ……！
耐え抜く者だけが、
闇の真理を掴むことを
許されるのだ……！

ぐぽ

ぐぽ

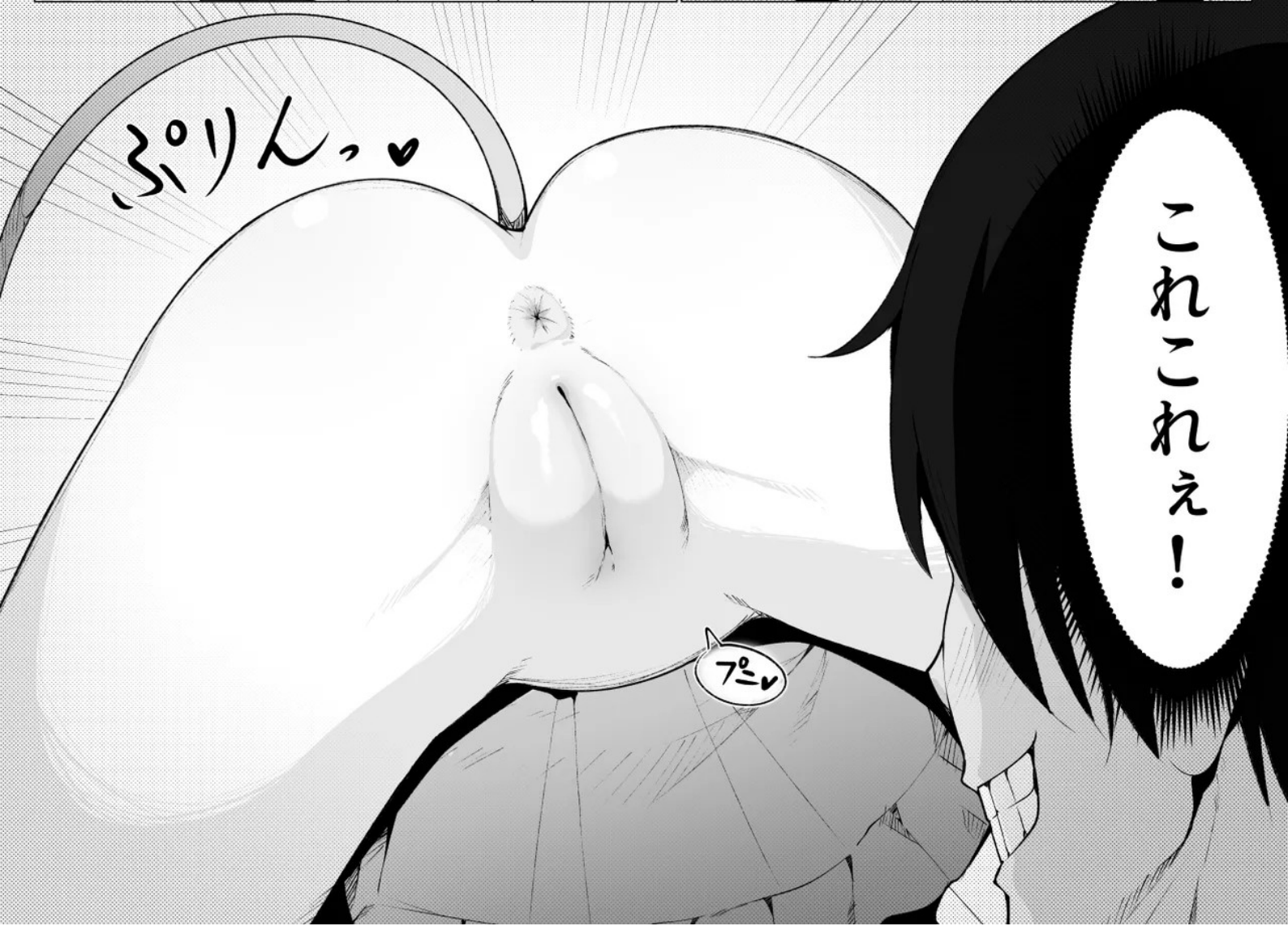
やほ……

ず

グ
リ
ャ
スッ

カ
ク
ヤ
リ

喉に入っ……!!?









ぐくん



飲むのだ鉄鼠、その苦薬は
闇の力に必須なのだ！

グエ...

ド...



ぬぎ...

しよ、承知した



シ...



よし...第一の漆黒の試練を乗り越えたな。
だが安堵するな、これより第二の深淵が我らを待つ...

ペラ

ペラ

己が身を曝せ...!この漆黒の儀式において、
裸の肉体こそが、深淵の力と直結する器となるのだ...
覚悟せよ、鉄鼠よ...!





鑑賞タイム♡







ひゅ

ひゅ

ふひゅ

く

ぽあ



エ、エロすぎる...っ
まだ挿入は耐えろ、この状況を
楽しむんだ...とりあえず一発
あれで抜かせてクレバーにいく...っ



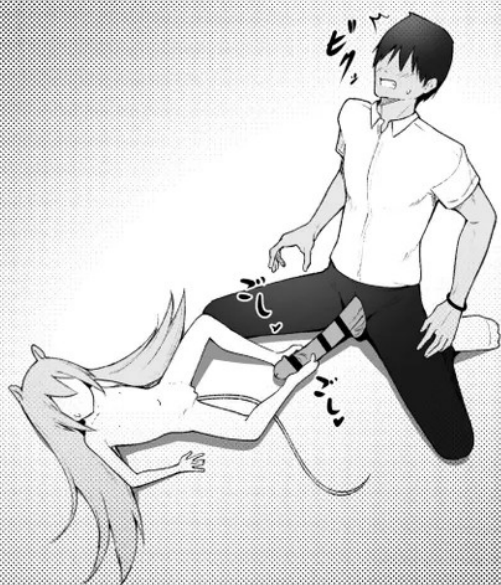
次の禁忌試練。その名も《漆黒の舞踏(アビス・ダンス)》。――。
両の手に頼ることを封じ、足先にて闇杖(ダークネメシス)を操るのだ。
これは肉体の均衡のみならず、魂と闇の脈動を一つに繋ぐ秘儀……。
踏みしめるごとに地は軋み、闇杖は呻き、虚無の波動は全身を貫く。
耐えよ、鉄鼠よ。足で操るといふ屈辱すら受け入れ、
なお闇を制する者のみが――次なる深淵の門を叩くことを許されるのだ……!!
(要約…足コキしろ)

あ、足で…

ぎゅっ



こいつ、ほんとに飲み込みが早いぞ…
ちんこの弱点を掴み始めている動きだ…っ



ギン

ギン











ああ、次の試練では
その部位が非常に大事だ



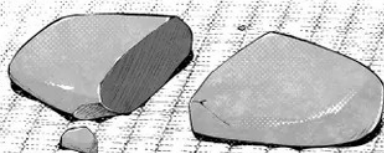
ず、ずいぶん股と胸が念入りなんだな



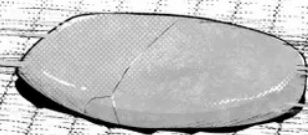
さあ、最終試練の時間だ♡

SEXは次回に続く...

これは何回割っても戻る石



ピタッ



これは力を注ぐと自由に動かせる人形



これがあたちの宝物♪



すごい
おもしろいよこれ!



うむ、このような不思議なものは
初めて見た

ほほう、
それはツクモガミじゃな



ツクモガミ?

ツクモガミとは長年かけて物に宿った
意思はないが力が宿った妖怪の類じゃ、



しかしそれを見つけたのは並の妖怪では
不可能なほど微量な妖気を放つ

猫又、これをどうやって手にした？

ふふん、あたちの鼻はどんなに
薄い妖気でもお見通しなのよ♪

ドヤ……

たとえば…

玉藻様の懐にも感じるのよね、
ものすごいツクモガミを
なにかで隠してるけど
少し漏れ出てる妖気とか

ホホ♪素晴らしい才能だな猫又
これはいつかお披露目する日が
来るかもしれないな

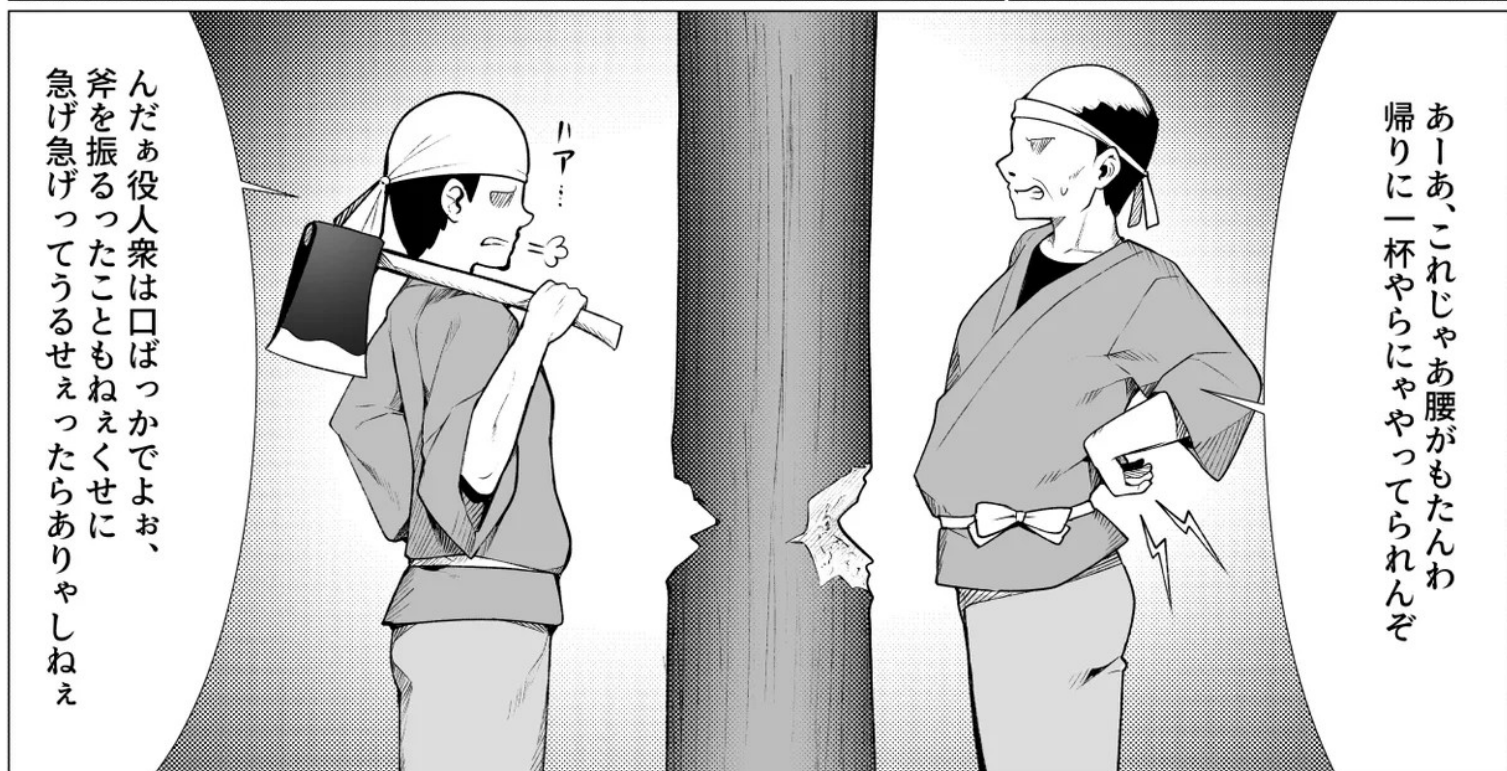
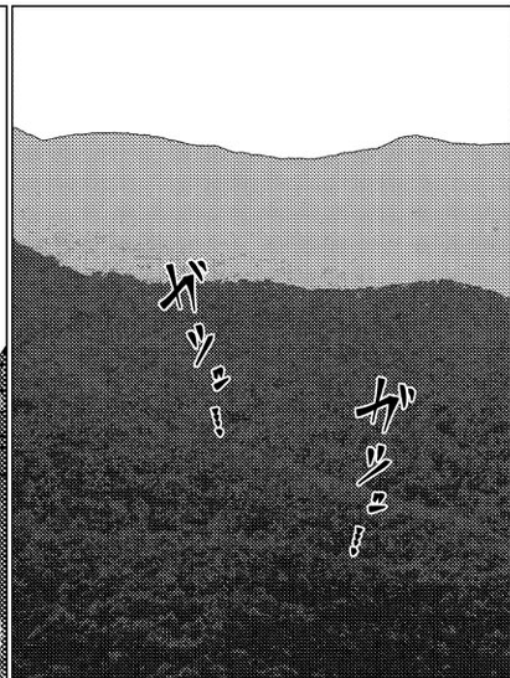
今はムリだが♡

えー？





ヨイシヨコラシヨ、
エンヤトット!



んだあ役人衆は口ばっかでよお、
斧を振るったこともねえくせに
急げ急げってうるせえったらありやしねえ

あーあ、これじゃあ腰がもたんわ
歸りに一杯やらにややつてられんぞ

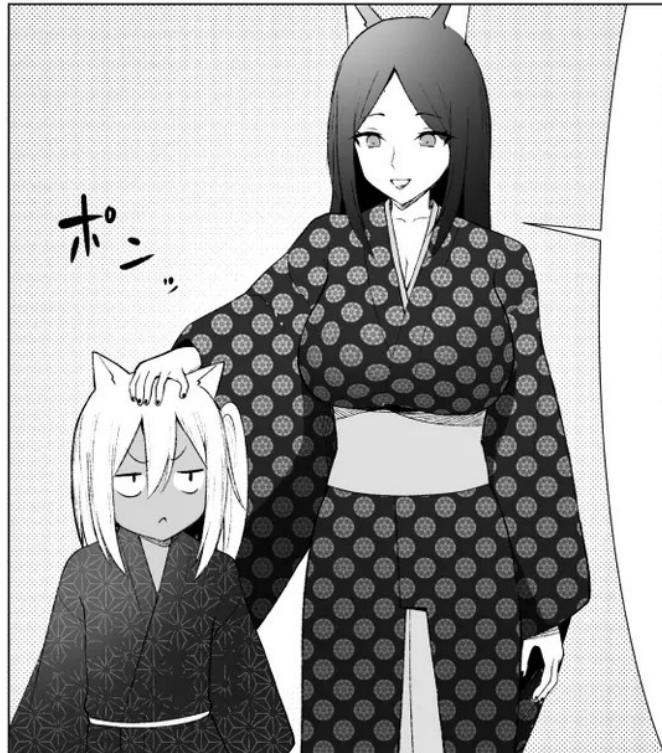


ああ、木が…
ここは人里離れた
妖怪の森なのに!

もう人間なんて
いっそ片っ端からやっちゃえばいいのよ。
害しかないじゃない



それはいかんぞ、猫又。わしらは妖怪——
人が生まれる前からこの世を統べる存在だ。
人間は短き命故に同じ愚かを繰り返すが、
それもまた流れの一部よ



もし我らが怒りに任せて命を奪えば、
ただの物の怪に堕ちる。

妖怪はこの世の頂点の存在……
人の浅はかさに引きずられるようでは
妖怪としての器が知れる



ほほっ、あれはほんの戯れじゃ

破壊の先に残るのは双方の痛みだけ
だから奴らの如何なる愚行も赦してくれぬか



……でも、妖怪も人間の着物
盗んだりはするじゃない



うむ、永き時を経験した
玉藻様の言うことは
全て正しいということだ

うんうん



今日も猫又はツクモガミ探しか？

はい、玉藻様のツクモガミに
感化され特に熱中しているようです

ふむ、猫又の力なら心配いらんか

も=

今日は皆ででかけようかと思っていたが――

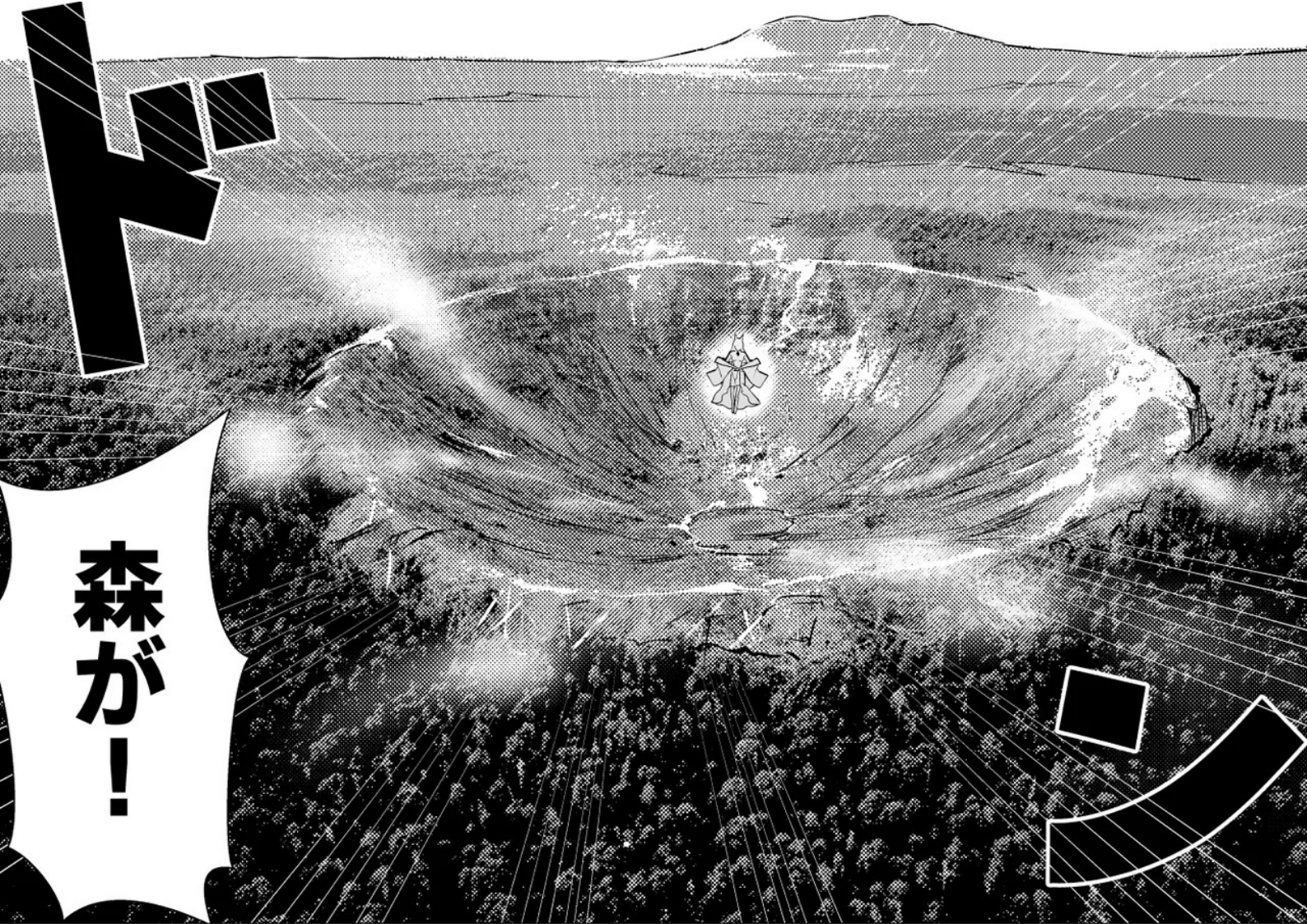
!?

あ~~~~~!!

なんだ、この妖気は…!?

ふあ〜

カマク



森が！



奴は…



一体、あの巨大な妖怪は…？
妖気の量も質も桁違いで…



ありえぬ…いや、しかし
あれは…



天狐だ

あとがき

どうも、すれもです！いつもはやく出したいと言いながら8ヶ月くらい
感覚が空いてたのですが、今回はなんと2ヶ月くらいで
描きあげました！大きな理由としては、長年の悩みである漫画用のペンブラシの設定が
ついに理想形に近づいてハッチングがいい感じにかけられるように
なり全体的にクオリティアップに起因→モチベアップ→早いという流れです。

今回は鉄鼠を騙してHなことをするというテーマで、騙す系は
前からやりたかったのですが、騙し方に難儀していたので、中二病とちょっと奇抜な
感じで実現できてよかったです、さらに丸ごと1本を本番なしというのも
どうしてもやってみたかったので普段できないページを贅沢に使って見たのですが
いかがだったでしょうか？同時に続きモノにしたので次回は鉄鼠とガッツリ
SEXしますのでお楽しみに～(単調にならないように工夫を考えつつ)

ストーリーパートもついに天狐登場しました。
つくづくエロ同人で壮大なことをしては
はいけないと身にしみたのでこのような試みはこのシリーズで
最初で最後に…だからこそ最後まで描ききりたいです。
2026年完結を目指していきますので
ぜひ最後までお付き合いくださいませ！

すれも